

出演タイムテーブル

18 土曜 (13:00開演-18:50終演)

13:00-13:15	寿二人三番叟	太夫:竹内雅代 三味線:鶴澤友輔 人形:青年座・ポラリス座
13:25-13:55	壺坂観音霊験記 山の段	太夫:森口和奏 三味線:竹本友和嘉 人形:ふれあい座
14:05-14:35	本朝廿四孝 奥庭狐火の段	太夫:後藤としこ 三味線:鶴澤友輔 人形:あわ工芸座
14:45-15:15	傾城阿波の鳴門 順礼歌の段	太夫:新居和昇 三味線:豊澤町若 人形:名月座
15:25-16:05	傾城阿波の鳴門 十郎兵衛内の段	太夫:藤井登美昇 三味線:竹本友和嘉 人形:鳴門座
16:15-16:30	寿二人三番叟	人形:清流座
16:40-17:40	大駱駝艦 田村一行舞踏公演 『舞踏風土記 阿波木偶さま』	出演:(大駱駝艦)田村一行、鉾久奈緒美、坂詰健太、谷口美咲子 (義太夫三味線)鶴澤友輔 (人形)寄井座 (特別出演)鷹 赤兒
17:50-18:50	二代目鶴澤友路襲名披露公演 絵本太功記 尼ヶ崎の段	太夫:竹本友和嘉 三味線:二代目鶴澤友路 人形:勝浦座

19 日曜 (11:00開演-16:00終演)

11:00-11:15	阿波木偶「三番叟まわし」	阿波木偶箱まわし保存会
11:25-12:05	艶姿女舞衣 酒屋の段	太夫:竹本友廣 三味線:鶴澤友輔 人形:寄井座
12:15-12:45	傾城阿波の鳴門 順礼歌の段	太夫:宮崎照美 三味線:鶴澤友丸 人形:阿波十郎兵衛座
12:55-13:10	寿二人三番叟(鈴の段)	人形:とくしま座
13:20-13:50	仮名手本忠臣蔵 七段目 祇園一力茶屋の段	太夫:(由良之助)竹本友代 (お軽)竹本友幸 (平右衛門)竹本友希 三味線:鶴澤友春 細三味線:三島佳津子 人形:平成座
14:00-14:50	摂州合邦辻 合邦住家の段	太夫:竹本友廣 三味線:鶴澤友輔 人形:中村園太夫座
15:00-16:00	大駱駝艦 田村一行舞踏公演 『舞踏風土記 阿波木偶さま』	出演:(大駱駝艦)田村一行、鉾久奈緒美、坂詰健太、谷口美咲子 (義太夫三味線)鶴澤友輔 (人形)寄井座 (特別出演)鷹 赤兒

ご案内

●1日券、2日通し券ともに再入場は可能です。●徳島県内の選りすぐり品を集めた「徳島じょうりショップ」が出没する予定です。●「阿波人形浄瑠璃公演」については、写真・動画撮影可。フラッシュ等をご遠慮ください。●タイムテーブルは目安です。進行に大幅なズレが生じる可能性がありますのでご注意ください。●高校生以下の方は当日身分を証明できるものをご持参ください。

プレイガイド

あわぎんホール (WEB・窓口・電話)

※高校生以下は入場無料です。チケットはございませんので、身分を証明できるものをご持参の上、直接会場にお越しください。※あわぎんホール窓口は会館南側新町川沿いの1階にあります。※車いす席をご利用のお客様は、お問い合わせください。

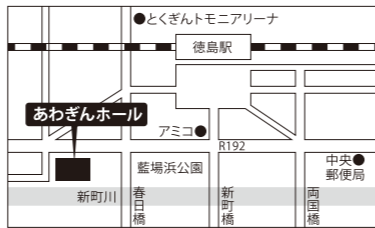
徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 (窓口・電話)

お問い合わせ

あわぎんホール (徳島県郷土文化会館) Tel:088-622-8121 E-mail:jigyo@kyoubun.or.jp

※あわぎんホールの休館日[7月8日(水)]は、窓口・電話による販売はありません。

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 Tel:088-665-2202



アクセス ■徳島駅より徒歩8分 ■徳島ICより車で20分 ■徳島空港より空港連絡バスで30分、徳島駅より8分

主催:公益財団法人徳島県文化振興財団、公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会、一般社団法人徳島新聞社  
後援:四国放送株式会社、株式会社エフエム徳島



**Re-think**

第80回夏期阿波人形浄瑠璃大会

**あわぎんホール**  
(徳島県郷土文化会館)  
1Fホール

入場料  
2日通し券1,500円 | 1日券1,000円

Photo: Daiga Koshiyama



## 公演プログラム

### 阿波人形浄瑠璃公演

#### 永く、継承され、磨き抜かれた人形浄瑠璃

徳島県内の人形座14団体、5太夫部屋による古典作品の数々を上演。江戸時代において、歴史大作を扱った「時代物」、当時の世相や背景を物語にした「世話物」など、定番の演目から、普段上演しない演目まで、最高の舞台上で上演。

#### 県内出演団体

あわ工芸座、阿波十郎兵衛座、勝浦座、青年座、清流座、とくしま座、中村園太夫座、鳴門座、平成座、ふれあい座、ポラリス座、名月座、寄井座、阿波木偶箱まわし保存会、喜笑会、城北会、友輔会、友和嘉会、友成会



#### 二代目鶴澤友路襲名披露公演

#### 絵本太功記十段目 尼ヶ崎の段



太夫:竹本友和嘉 三味線:二代目鶴澤友路 人形:勝浦座

令和8年4月に、義太夫節三味線の人間国宝・故鶴澤友路さんの名跡を、淡路人形座の弟子・鶴澤友勇さんが襲名されました。初代友路師匠には、現在徳島で活躍している多くの太夫や三味線奏者が弟子として教えを受けています。また、二代目鶴澤友路さんと徳島の太夫、竹本友和嘉さんは「阿波路会」を結成し、毎年徳島と淡路島で義太夫節の普及を目的に公演やレクチャーを行っています。このたび、阿波人形浄瑠璃夏期大会において、二代目鶴澤友路襲名披露公演を開催いたしますので、ぜひご覧ください。

#### 特別解説 | ナビゲーター

原田 真澄 早稲田大学演劇博物館 学芸員

#### 人形浄瑠璃について

人形浄瑠璃とは、太夫・三味線・人形による三位一体の世界に類例を見ない表現で知られる日本を代表する伝統芸能の一つです。特に阿波(徳島)は天狗久などの著名な人形師で知られ、近現代を代表する人形師の名人・四代目大江巳之助も阿波の出身でした。阿波の人形浄瑠璃は、そのような伝統を受け継いだ名工たちが手掛ける大振りで印象的な人形によって演じられます。

人形たちとともに義太夫節という音楽芸術によって物語を紡ぐのが、太夫と三味線です。太夫と三味線は味わい深く、そして時にダイナミックに喜怒哀楽すべての感情を表現します。徳島のように多くの人形座が現在も活動し続けている地域は全国でも珍しく、阿波人形浄瑠璃大会はそのような江戸時代から続く地域に根ざした文化活動の精粋が一堂に会する唯一無二の魅力的な機会といえましょう。

原田 真澄 はらだますみ

早稲田大学にて博士号(文学)取得。専門は人形浄瑠璃文楽。現在、同大学 坪内博士記念演劇博物館 学芸員、日本女子大学 学術研究員。主たる業績に『近松半二 奇才の浄瑠璃作者』(演劇博物館、2022年)、『家康徹底解説 ここまでわかった本当の姿』(文学通信社、2023年)ほか。

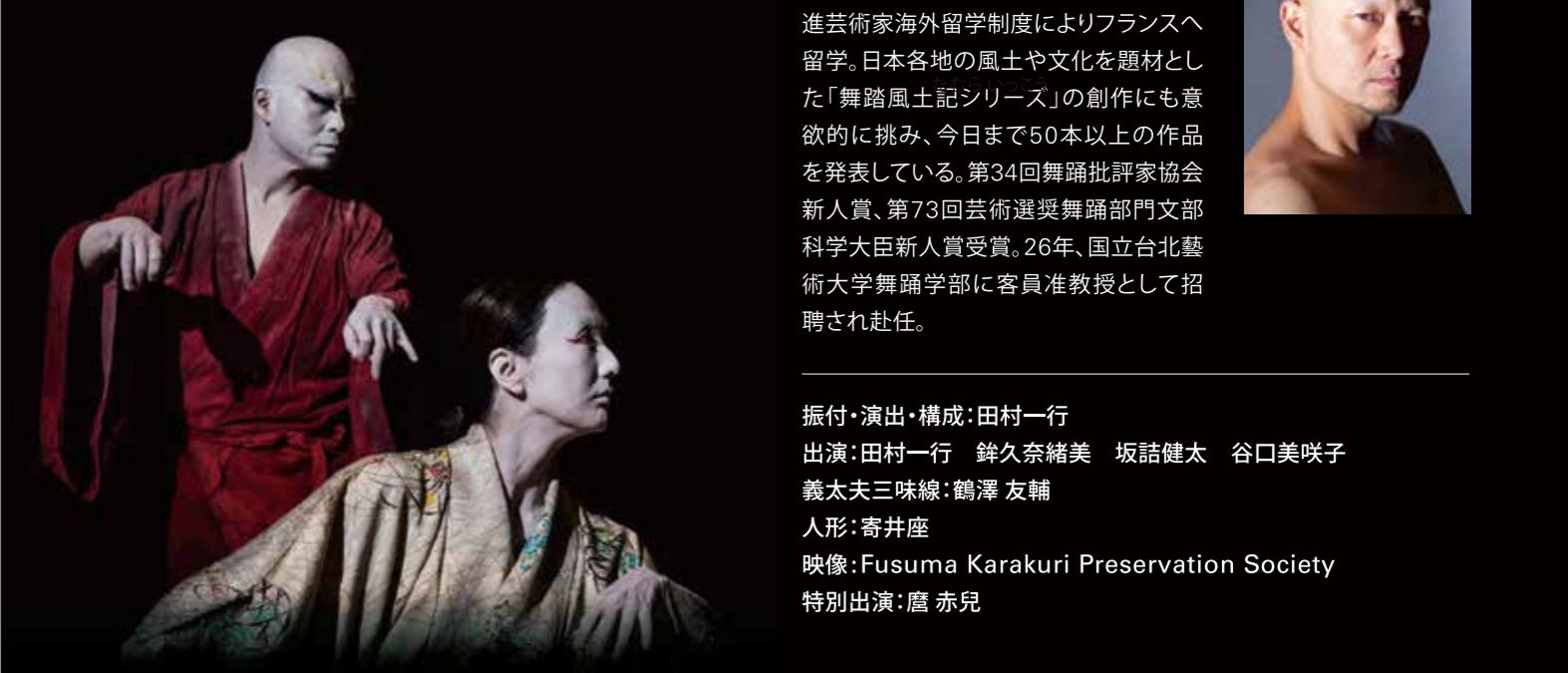
# 人形浄瑠璃の国、阿波の風流

## 大駱駝艦 田村一行舞踏公演 『舞踏風土記 阿波木偶さま』

### 大駱駝艦、その様式、天賦典式にて人形浄瑠璃に臨む

自分からは動くことのない身体を、自分以外のどのような要因がどのように動かしてくれるのか。その対話こそが私にとっての踊りです。私は人形浄瑠璃の一挙手一投足に、踊りの究極の姿を見入ります。昨年の公演以来、木偶さまたちが私の周りから離れません。「お前はまだまだ私を踊っていない」。そして今年もまた木偶さまから手ほどきを受けることができますこと、大変光栄に存じます。

この度も、おそれ多くも式三番叟はじめ阿波人形浄瑠璃とその風景を題材とした『舞踏風土記 阿波木偶さま』を、鶴澤友輔さま、寄井座の皆さま、Fusuma Karakuri Preservation Societyの方々と共に上演させていただきます。加えて今年も、大駱駝艦主宰の鷹赤児が特別出演いたします。鷹赤児と阿波人形浄瑠璃とは2022年に公開された、人形師・天狗久と阿波の芸能にスポットを当てた映像作品『人形師天狗久』で天狗久を演じたという縁がございます。作品はどのような変貌をとげるのか、私自身とても楽しみです。ぜひお見逃しなきようお願い申し上げます。



大駱駝艦 たいらくだかん

鷹赤児主宰。1972年創設。その様式を「天賦典式、(てんぷてんしき:この世に生まれ入ったことこそ大いなる才能とす)と名付け、忘れ去られた「身振り・手振り」を採集・構築し、数多くの作品を生み出し国内外で活動を行っている。また鷹赤児の考えである「一人一派」を実践し、多彩な舞踏グループ及び舞踏手を多数輩出し、様々な表現者に影響を与え続けている。

鷹赤児 まろあかじ

大駱駝艦主宰／舞踏家・俳優

1943年奈良県出身。1972年舞踏カンパニー「大駱駝艦」を旗揚げし、舞踏に大仕掛けを用いた圧倒的スペクタクル性の強い様式を導入。「天賦典式」(てんぷてんしき:この世に生まれたことこそ大いなる才能とする)と名付けたその様式は、国内外で大きな話題となり、「BUTOH」を世界に浸透させる。人材育成にも力を注ぎ、室伏鴻(背火)・天児牛大(山海塾)等、数多くの舞踏家及び舞踏カンパニーを輩出。また、映画・TV・舞台等においても独特の存在感を放ち、ジャンルを越境し先駆的な地位を確立している。



主な受賞歴  
2006年度  
文化庁長官表彰  
2022年  
第40回ニムラ舞踊賞

田村 一行 たむらいつこう

大駱駝艦舞踏手／振付・演出家

98年大駱駝艦入艦、鷹赤児に師事。以降大駱駝艦全作品に出演。08年文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランスへ留学。日本各地の風土や文化を題材とした「舞踏風土記シリーズ」の創作にも意欲的に挑み、今日まで50本以上の作品を発表している。第34回舞踊批評家協会新人賞、第73回芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞受賞。26年、国立台北藝術大学舞踊学部にて客員准教授として招聘され赴任。



振付・演出・構成:田村一行

出演:田村一行 鈴木奈緒美 坂詰健太 谷口美咲子

義太夫三味線:鶴澤 友輔

人形:寄井座

映像:Fusuma Karakuri Preservation Society

特別出演:鷹赤児